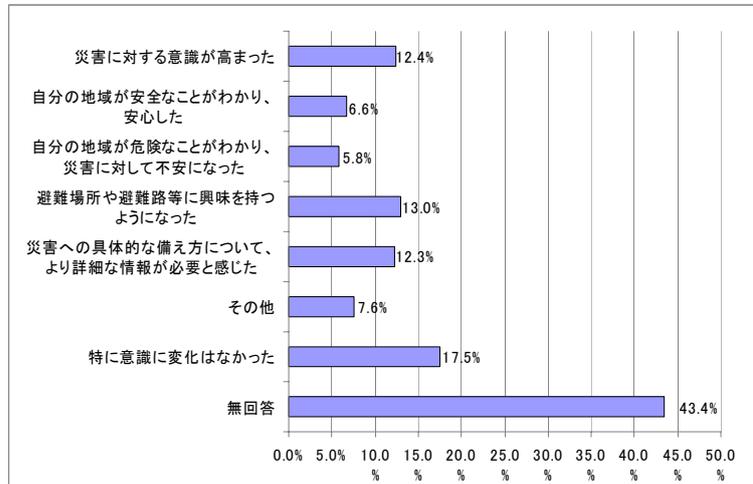


問 12. 【マップを見た後の意識の変化】ハザードマップを見た後で、意識の変化はありましたか？（あてはまるものを全て選択）

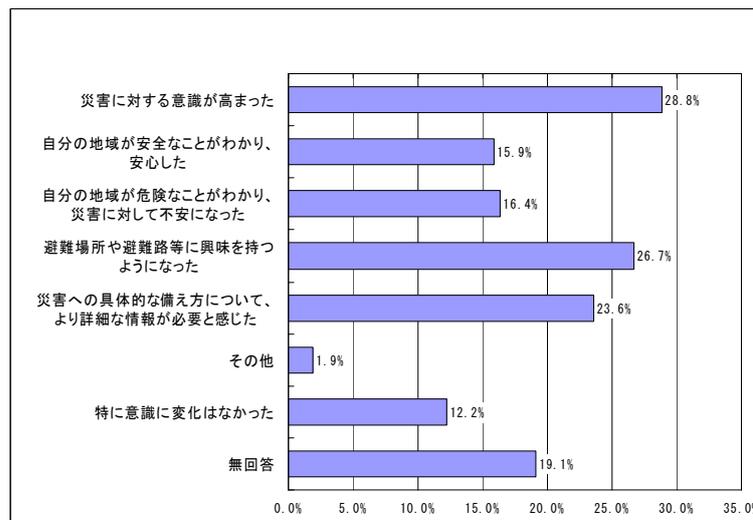
- ・「特に意識に変化はなかった」とする回答が最も多い（17.5%）。

【新潟市】



- ・「災害に対する意識が高まった」とする回答が最も多い（28.8%）。
- ・次いで「避難場所等に興味を持つようになった」（26.7%）、「より詳細な情報が必要と感じた」（23.6%）とする回答が多い。

【3市合計】



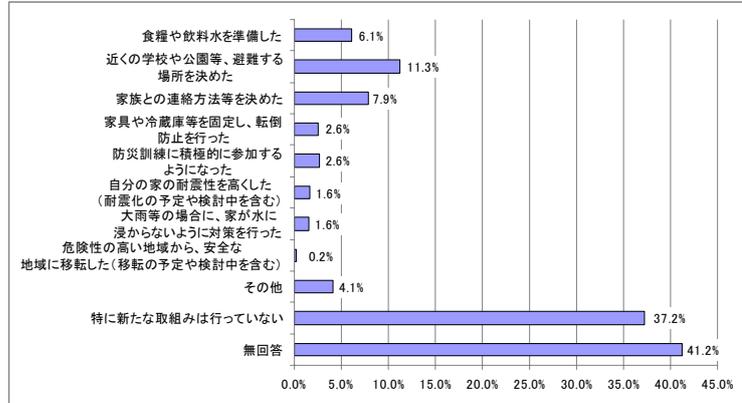
<アンケート結果に対する考察>

- ・新潟市民は、3市に比較して、ハザードマップを見たことによる意識啓発の効果が低い傾向がある。今後は、災害リスクについてより住民に伝わりやすく、わかりやすくするための工夫が重要であり、ハザードマップの公表だけではなく、その他の方法による災害リスク情報伝達の取組みを含めた対応が課題である。

問 13. 【マップを見た後の行動の変化】問3で回答した取組みの中で、ハザードマップを見た後に新たに行ったものはありますか？（あてはまるものを全て選択）

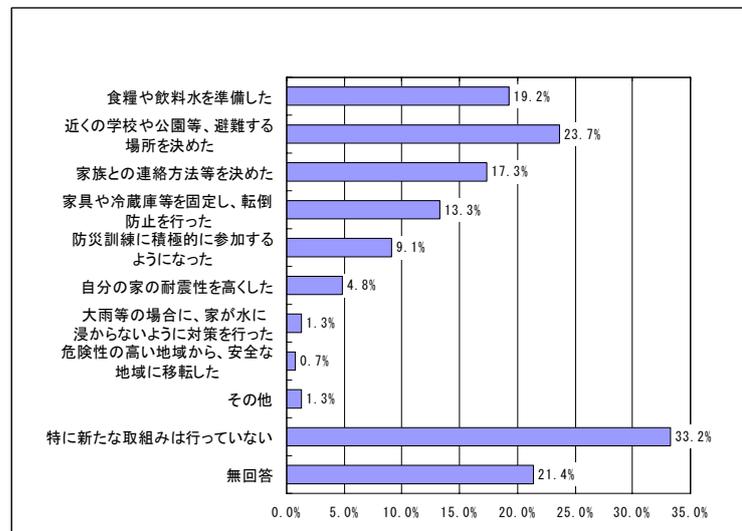
- ・「特に新たな取組みは行ってない」とする回答が最も多い（37.2%）。
- ・取組みとしては、「近くの学校や公園等、避難する場所を決めた」とする回答が多い（11.3%）。

【新潟市】



- ・「特に新たな取組みは行ってない」とする回答が最も多い（33.2%）。
- ・取組みとしては、「近くの学校や公園等、避難する場所を決めた」とする回答が多い（23.7%）。

【3市合計】



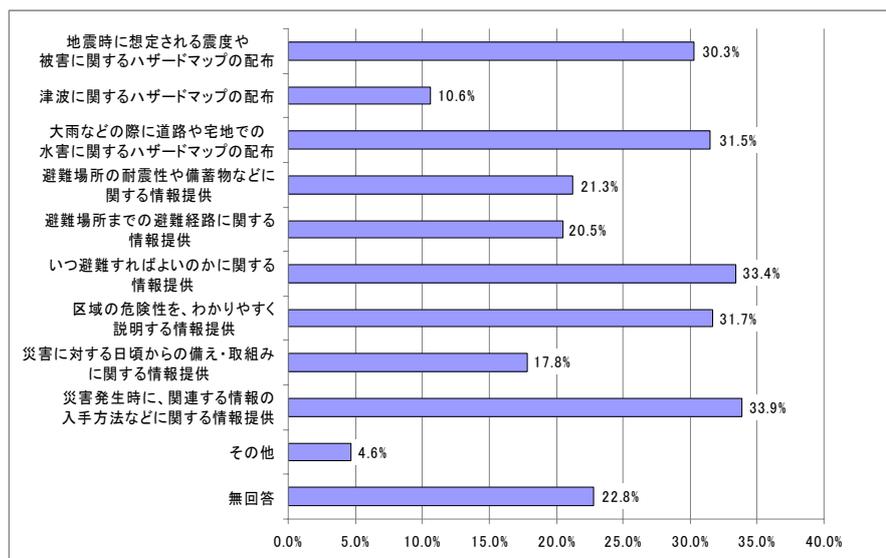
<アンケート結果に対する考察>

- ・新潟市および3市ともに、「特に新たな取組みは行ってない」とする回答が最も多い結果となっている。
- ・ただし、災害に対する取組みの実態（問9）では、新潟市と3市を比較すると3市の取組み状況が進んでおり、3市では、ハザードマップの確認前から取組みが進んでいたことが推察される。
- ・新潟市は、特に今後の実際の備えにつながるような取組みの推進が課題である。

問 14. 【災害への取組み要望】現在、洪水・土砂災害のハザードマップを配布していますが、その他に災害関連情報に関して必要と思われる取組みはありますか？（あてはまるもの全てを選択）

新潟市みのアンケート結果

「災害発生時に、関連する情報の入手方法などに関する情報提供」、「いつ避難すればよいかに関する情報提供」、「大雨などの際に道路や宅地での水害に関するハザードマップの配布」などが重要とする意見が多い。



災害関連情報として必要な取組み	回答数	回答率
地震時に想定される震度や被害に関するハザードマップの配布	1,047	30.3%
津波に関するハザードマップの配布	367	10.6%
大雨などの際に道路や宅地での水害に関するハザードマップの配布	1,087	31.5%
避難場所の耐震性や備蓄物などに関する情報提供	734	21.3%
避難場所までの避難経路に関する情報提供	708	20.5%
いつ避難すればよいかに関する情報提供	1,154	33.4%
区域の危険性を、わかりやすく説明する情報提供	1,093	31.7%
災害に対する日頃からの備え・取組みに関する情報提供	615	17.8%
災害発生時に、関連する情報の入手方法などに関する情報提供	1,170	33.9%
その他	160	4.6%
無回答	788	22.8%

<アンケート結果に対する考察>

- ・災害発生時の情報の入手方法や避難に関する情報提供に対するニーズが高いことから、応急対応に対する不安があることが想定され、その対策が重要である。
- ・ハザードマップの種類としては、地震や大雨に対するニーズが高く、今後の情報提供が課題となる。